



先週のドル円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週の相場概況

30日

日経平均株価の下落を受けてドル円は107.74円まで下げたが、対ユーロを中心にドル高が進むと下げ渋り。米国株相場や日経平均先物が底堅く推移したことも追い風に一時108.18円まで持ち直した。

1日

ドル円は株高を背景に欧州時間は堅調に推移し、一時108.47円まで上値を伸ばしたが、9月米ISM製造業景気指数が47.8と10年ぶりの低水準を付けたことが分かる一転下落。株価急落と米長期金利の急低下とともに107.63円まで売り込まれた。

2日

9月ADP全米雇用報告が弱い内容となるなど連日の米指標悪化を受けてダウ平均が大幅安となり、リスク・オフムードが一段と高まった。ドル円は一時107.05円まで下げ幅を広げた。

3日

9月米ISM非製造業指数が低調な内容だったことで相次ぐ弱い米指標を手掛かりとした仕掛け的な売りが持ち込まれ、ドル円は一時106.48円まで下落した。ただ、一時は330ドル超下落したダウ平均が120ドル高まで反発したため、ドル円もショートカバーの動きから106円台後半まで下げ渋った。

4日

9月米雇用統計で非農業部門雇用者数が予想を下回ったことが分かるドル円は106.61円まで値を下げた。ただ、失業率が3.5%と50年ぶりの低水準を記録すると米景気に対する過度な警戒感後退から株価反発とともに107.13円まで一転上昇した。

総括

先週のドル円は頭の重い動きとなった。週前半は株高などを支えに底堅く推移し、一時108.47円まで上昇する場面もあった。ただ、ISM製造業景気指数をはじめ米経済指標がごとく予想を下回る結果となると米景気後退懸念から株安・米金利低下とともにドル円は106.48円まで売り込まれた。一方、米雇用統計が比較的堅調だったことで107円台を回復する場面も見られた。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
1日	08:50	火	JPY	日銀短観	*	7-9月期	7		2	5
1日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.00%		0.75%	0.75%
1日	23:00	火	USD	ISM製造業指数	*	9月	49.1		50.1	47.8
2日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	9月	19.5万人	15.7万人	14.0万人	13.5万人
3日	23:00	木	USD	ISM非製造業指数	*	9月	56.4		55.0	52.6
4日	21:30	金	USD	NFP	前月比	9月	13.0万人		14.5万人	13.6万人
4日	27:00	金	USD	FRB議長発言	*	*	*	*	*	*

一言コメント・・・1日のISM製造業指数が予想を下回る弱い数字となったことでリスク・オフの動きが先行し株安・ドル安が進行。その後発表された米経済指標も低調だったことから株安・ドル安に拍車がかかる展開となりました。ただ、週末の米雇用統計は強弱入り混じる内容だったことからひとまずリスク・オフの動きは後退しています。

## 先週の注目された要人発言

1日13:30 RBA声明「労働市場を含めた動向を監視し、経済の持続的成長と完全雇用、長期にわたるインフレ目標の達成を支援するために必要であればさらなる金融緩和を行う用意がある」「豪ドルは最近では最も低い水準」  
 1日18:25 ロウRBA総裁「雇用やインフレの進展は求めているよりも遅い」「本日の利下げが助けになるだろう」  
 1日23:37 トランプ米大統領「ドルは強すぎる。FRBの金利は高すぎる」  
 2日19:45 ジョンソン英首相「英国は何があろうとも10月31日にEUを離脱する」「合意なき離脱に対しても準備している」  
 3日23:26 トランプ米大統領「中国が米国が望んでいることを行わないのなら、米国には様々な選択肢がある」「ウクライナにはバイデン前副大統領を調査してほしい」  
 4日01:56 ユンケル欧州委員長「英国のブレグジットの提案には、いくつかの問題が残っている」  
 4日02:11 プーチン露大統領「中国はロシアが産出する大豆を欲しいだけ買える準備をしている」「ロシアはミサイル迎撃システム製造に協力をしている」「米国の中距離核戦力全廃条約(INF)離脱は安定を悪化させた」  
 4日09:43 ナバロ米大統領補佐官(通商担当)「中国との小規模な合意はないだろう」「中国と重要な合意を得るか合意なしかどうか」「FRBは雇用統計の結果で利下げを抑止するべきではない」「ドルは過大評価されている」  
 4日22:53 クドローNEC委員長「米中貿易協議では何かサプライズがあるかもしれない、しかし予想はできない」  
 4日23:54 トランプ米大統領「中国と良い取引ができるだろう」

一言コメント・・・英国のEU離脱期限を今月末に控えてポンドの買いと売りが交錯し神経質な展開となりました。一方、トランプ大統領はじめ米高官からは今週から始まる米中貿易協議への前向きな発言が相次ぎ、交渉の進展期待が高まっています。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
8日	21:30	火	USD	PPI	前月比	9月	0.1%		0.1%
8日	26:50	火	USD	FRB議長発言	*	*	*	*	*
9日	23:30	水	USD	FRB議長発言	*	*	*	*	*
9日	27:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*
10日	21:30	木	USD	CPI	前月比	9月	0.1%		0.1%
11日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	9月	8.11万人		0.79万人
11日	23:00	金	USD	消費者態度指数速報	*	10月	93.2		92.0

今週の注目は・・・FRB議長発言

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。